

保証書付

保証書はこの取扱説明書の裏表紙についていますので、
お買い上げの販売店の記入をお受けください。

家庭用

日立パーソナルブレンダー

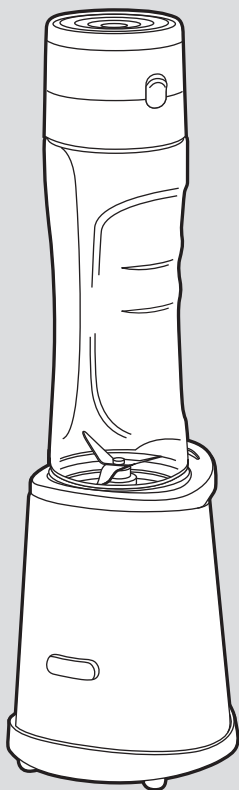
エイチエックス シー

型式 HX-C2000

このたびは、パーソナルブレンダーをお求めいただき、まことにありがとうございました。

この「取扱説明書」をよくお読みにになり、正しくご使用ください。

なお、お読みにになった後は、大切に保存し、必要なときお読みください。



VEGEE

目次

■ 安全上のご注意	2・3
■ 使用上のご注意	4
■ 各部のなまえ	5
■ ご使用の前に	6~8
■ 使いかた	9~13
■ モーターの保護装置について	12
■ 真空保存の使い方	13
■ お手入れと収納	13~15
■ 故障かな?と思ったら	16
■ 消耗部品について	17
■ 仕様	18
■ 保証とアフターサービス	18
■ ご相談窓口	19

●このパーソナルブレンダーは一般家庭用です。他の用途でのご使用はしないでください。
思わぬ事故の原因となります。



●この製品は日本国内家庭用です。電源電圧や電源周波数の異なる海外では使用できません。
またアフターサービスもできません。

●地震・火災など緊急時や異常時には、直ちに電源プラグを抜き、ご使用を中止してください。

安全上のご注意

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。

■表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。













 警告	この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
 注意	この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性及び物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

■お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています

〈絵表示の例〉

 禁止	 指示を守る	 分解禁止
 電源プラグを抜く	 水ぬれ禁止	 ぬれ手禁止

警告

 改造はしない。また、修理技術者以外の人は、分解したり修理をしない 分解禁止 火災・感電・けがの原因となります。修理はお買い上げの販売店または、日立家電品のご相談窓口にご相談ください。	 異常・故障時にはただちに使用を中止する 禁止 火災・感電・けがをするおそれがあります。
 水につけたり、水をかけたりしない 水ぬれ禁止 ショート・感電のおそれがあります。	 電源コードを破損させたり、無理な方向に引っ張り出したり、加工しない(無理に曲げる・引っ張る・ねじる・たばねる・重い物を載せる・挟みこむ・高温部に近づけるなど) 禁止 電源コードが傷付いて、火災・感電の原因になります。
 ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない ぬれ手禁止 感電やけがをすることがあります。	 電源コードや電源プラグが傷んでいたり、コンセントへの差し込みがゆるい時は使用しない 禁止 感電・ショート・発火の原因になります。
 ボトルの中にスプーンや箸など調理材料以外を入れて運転しない 禁止 けがをするおそれがあります。	 単相交流100V以外では使用しない 指示を守る 火災・感電の原因になります。
 子どもだけで使わせたり、幼児の手の届くところで使わない 禁止 やけど・感電・けがをするおそれがあります。	 電源プラグの刃および、刃の取り付け面にほこりが付着している場合はよく拭く 指示を守る ほこりが付着、さし込み不完全な場合は感電や火災の原因になります。
 カッター刃や、回転部を露出したままで運転しない 禁止 けがをするおそれがあります。	 電源プラグはコンセントの奥までしっかりさし込む 指示を守る 感電・ショート・発煙・発火のおそれがあります。

⚠️ 注意

 <p>不安定な場所では使用しない けがの原因となります。</p> <p>禁止</p>	 <p>ボトルを電子レンジやオーブンに入れてあたためない 破損の原因となりけがややけどの原因となります。</p> <p>禁止</p>
 <p>60℃以上の熱い材料は、容器に入れない ふきこぼれによるやけどや、容器割れによるけがの原因となります。</p> <p>禁止</p>	 <p>ボトルを冷凍庫に入れない ボトルのひび割れやパッキン（キャップ用）の劣化によるけがの原因となります。</p> <p>禁止</p>
 <p>運転中にボトルの取り外しは行わない けがの原因となります。</p> <p>禁止</p>	 <p>電源プラグを抜く時は、電源コードを持たずに必ず電源プラグを持って引き抜く 感電やショートによる発火を防ぐためです。</p> <p>指示を守る</p>
 <p>運転中に移動させない けがの原因となります。</p> <p>禁止</p>	 <p>運転が停止していることを確認してから、電源プラグを抜き差しする けがの原因となります。</p> <p>指示を守る</p>
 <p>カッター刃は鋭利なので、直接手を触れない けがの原因となります。</p> <p>禁止</p>	 <p>お手入れするときは、スイッチを切り電源プラグをコンセントから抜く けがをするおそれがあります。</p> <p>指示を守る</p>
 <p>保護スイッチを細い棒などで押さない スイッチが入ったままですと回転部が回転し、けがをするおそれがあります。</p> <p>禁止</p>	 <p>使用時以外は、電源プラグをコンセントから抜く けがややけど、絶縁劣化による感電・漏電火災を防ぐためです。</p> <p>電源プラグを抜く</p>
 <p>傷がつくような使い方をしない けがをするおそれがあります。</p> <p>禁止</p>	 <p>部品の取り付け・取り外しの際は必ず電源プラグをコンセントから抜く 感電やショートによる発火を防ぐためです。</p> <p>電源プラグを抜く</p>
 <p>テレビやラジオの近くで使用しない 画像が乱れたり、雑音が入ることがあります。このようなときは本機を離して使用してください。</p> <p>禁止</p>	<p>真空ポンプをつけずに、スイッチを押さないでください。 けがの原因になります。</p> <p>禁止</p>

異常・故障時には直ちに使用を中止し、電源プラグを抜く

[発煙・発火、感電、けがの原因]

- 〈異常・故障例〉
- 電源プラグ・電源コードが異常に熱くなる
 - 電源コードに傷が付いたり、通電したりしなかったりする
 - 本体が変形したり、異常に熱くなったりする
 - 使用中に異常な回転音がする
 - ボトルにひび割れなどができた
- ➡ すぐに販売店に点検・修理を依頼してください

使用上のご注意

真空かくはん・真空保存について

従来のパーソナルブレンダーは、材料のかくはん時(標準大気圧)に空気が多く混入していたため、作ったスムージーなどが酸化していました。

日立のブレンダーはこれに対し、材料のかくはん前に空気を抜くことで、酸化を抑えて新鮮さを維持することができます。

また、真空保存することで、鮮度を維持した状態で保存することができます。

ご注意

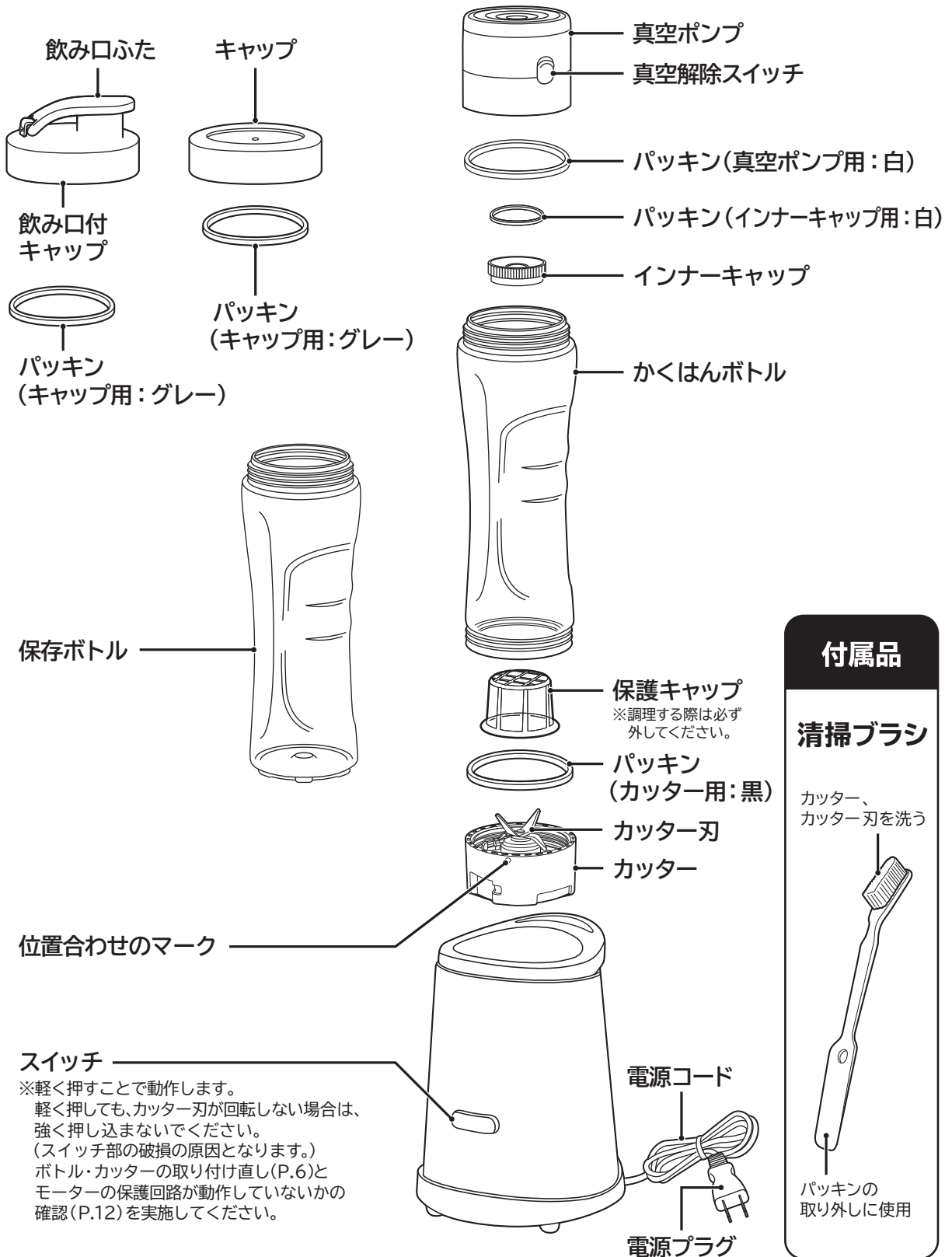
- ・賞味・消費期限を延ばす効果はありません。
- ・真空保存に滅菌作用はないため、できるだけ数時間以内にお飲みください。

必ずお守りください

液体調理(スムージーやスープ)以外に使わないでください。	パッキン(カッター用)の取り付け、取り外しのときには、カッター刃で傷つかないようにご注意ください。(パッキン切れによる液漏れの原因)
連続使用するときは4分使用ごとに2分以上休止してください。使用時間の合計は20分まで、20分使用後は30分以上休止してください。(故障の原因)	飲み口ふた・真空ポンプは完全密封ではありません。横倒しになると中身が漏れることがあります。かぼんなどに入れて持ち運ばないでください。
使用中に回転が止まったときは、モーターの保護装置が働いています。(P.12)そのまま、繰り返し使用しないでください。(発煙・異臭、故障の原因)	ボトルに調理物を入れた状態で、長時間保存しないでください。 氷は家庭用冷蔵庫で作った約2.5cm角(約15g)以下の角氷を使ってください。 <small>※大き過ぎたり、市販の氷を使うとボトルの割れや故障の原因になるおそれがあります。</small>
空運転をしないでください。(故障の原因)	液体や水分の多い材料と一緒にかくはんしてください。(空回りの原因)
それぞれのパッキンは必ず取り付けてご使用ください。(取り付けないと調理物が漏れます)	真空ポンプを続けて使う場合は、お手入れを行い、乾かしてから取り付けてください。(故障の原因)
真空ポンプを下向きに材料を入れないでください。(故障の原因)	最大量(600mL)を超える量の材料を入れない。(故障の原因)
真空ポンプのインナーキャップはしっかり取り付ける。(故障の原因)	流動食づくり(特に禁止材料を使用したもの)に使用しない。(故障の原因)

各部のなまえ

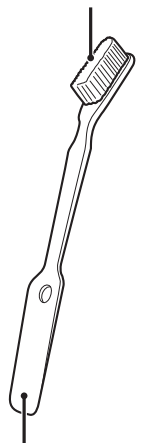
※全てのパッキンと、インナーキャップは、工場出荷時より取り付けられています。



付属品

清掃ブラシ

カッター、カッター刃を洗う



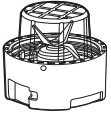
パッキンの取り外しに使用

ご使用前に

ご使用前に各部品を洗い、下記手順にそって確実に取り付けてください。

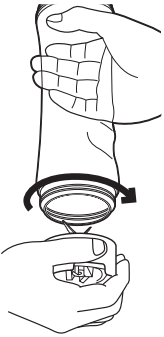
かくはんボトル・カッター・真空ポンプの取り付けと取り外し

取り付け



- ①保護キャップを取り外す。
- ②かくはんボトルを用意する。
- ③カッターを矢印方向(左回り)にしっかりと締め付ける。

注意 カッター刃に注意



パッキン(カッター用)を忘れずに付ける。

※工場出荷時より取り付けられています。

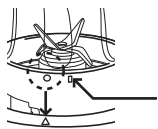
注意 カッター刃でパッキンが傷つかないようにご注意ください。

- ④真空ポンプを矢印方向(右回り)にしっかりと締め付ける。



パッキン(真空ポンプ用)、インナーキャップを忘れずに取り付ける。

※工場出荷時より取り付けられています。



●印を合わせて置く

- ⑤ボトルをカッターの●印と本体の▲印を合わせて置く。

■印までしっかり回す



- ⑥本体をしっかり押さえ、矢印方向(右回り)にしっかりと回し、カッターの「■」が本体の「▲」の位置までくるように締め付ける。

取り外し



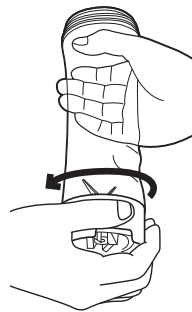
- ①真空ポンプの真空解除スイッチを矢印方向(上)に押し上げ、真空状態を解除する。

- ②本体をしっかり押さえ、ボトルを矢印方向(左回り)に回す。

注意 ボトルとカッターを外すときに、ボトルを一度右回りに回して、ボトルとカッターをしっかりと締めつけ直してから外してください。

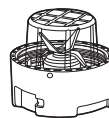


- ③真空ポンプを上にして真空ポンプ矢印方向(左回り)に回す。



- ④カッターを下にしてカッターを矢印方向(右回り)に回す。

注意 カッター刃に注意



- ⑤外したカッターはカッター刃を上に向けて置き、すぐに保護キャップをかぶせる。

注意 カッター刃に注意

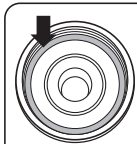
お願い

- ・パッキンの付け忘れ、切れなどが無いか確認してください。(調理物が漏れます)
- ・カッターは確実に取り付けてください。(取り付け不足だと保護装置が働き運転しません。また、ボトル内の調理物が漏れるおそれがあります)
- ・インナーキャップは確実に取り付けてください。(取り付け不足だとかくはん時に落下し、調理物に混ざるおそれがあります)

真空ポンプの取り付けと取り外し

取り付け

真空ポンプを矢印方向(右回り)にしっかりと締め付ける。



パッキン(真空ポンプ用)、インナーキャップを忘れずに取り付ける。

※工場出荷時より取り付けられています。

取り外し

保存ボトルをしっかりと押さえ、真空ポンプを矢印方向(左回り)に回す。

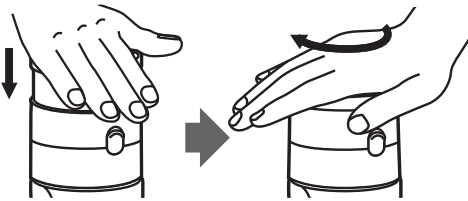


真空ポンプのロック・解除方法と真空解除について

※工場出荷時は、真空ポンプがロック状態になっています。

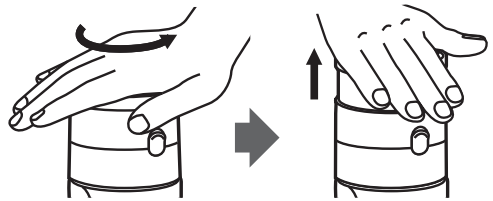
ロック方法

真空ポンプを上から押し込みながら矢印方向(右方向)にしっかりとロックする。



ロック解除方法

真空ポンプを矢印方向(左方向)に回し、真空ポンプのロックを解除する。



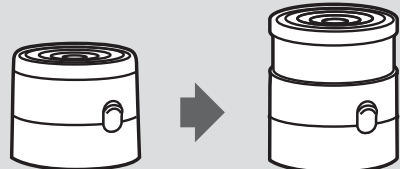
真空解除方法

真空ポンプの真空解除スイッチを矢印方向(上)に押し上げ、真空状態を解除する。



注意 真空解除スイッチを使わずに真空ポンプを取り外そうとすると、開かないおそれがあります。

注意



ロック時

ロック解除時

真空ポンプがロック時は、上から押すことができません。ロックを解除すると上から押すことができます。

ご使用前に(つづき)

保存ボトル・キャップ・飲み口付きキャップの取り付けと取り外し

取り付け



保存ボトルをしっかり押さえ、
キャップを矢印方向(右回り)に
しっかりと締め付ける。



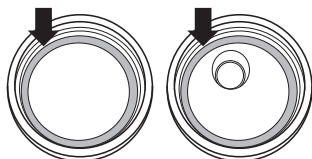
または



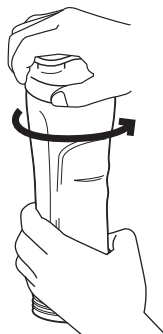
各パッキンを忘れずに付ける

※工場出荷時より
取り付けられています。

お手入れ(P.13~15)でパッキンを
取り外したときは、キャップの下側の
溝に取り付け直してください。



取り外し

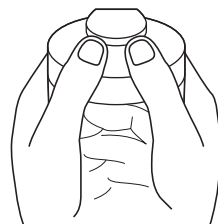


保存ボトルをしっかり押さえ、
キャップを矢印方向(左回り)に
回す。

飲み口付きキャップの開閉について

飲み口付きキャップは、固い場合があります。

両手でしっかりとささえ、両手親指でゆっくりと開け閉めして
ください。



キャップを使うとき

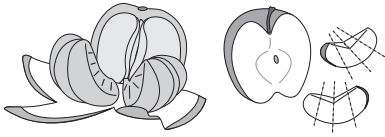
- ・パッキン(キャップ用)が取り付けられているか必ず確認してください。(調理物が漏れます)
- ・ボトルを逆さにしたり斜めになると、飲み口から調理物が漏れます。
- ・とろみのあるものや水分の少ないスムージーなどは、飲み口から出にくいいため、
飲み口付きキャップを使わないでください。

使いかた

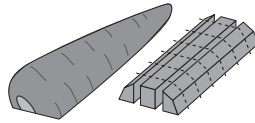
スムージーのつくりかた

下ごしらえ

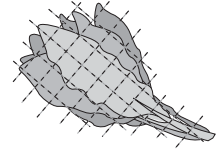
やわらかい材料は
2~3cm角に切る



かたい材料は
1cm角に切る



葉菜類はよく洗い
2cm角に切る



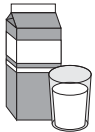
野菜や果物は、皮や芯、種、へたを取り除いてください。また、材料が大きいと固形物が残る場合があります。

材料を入れる

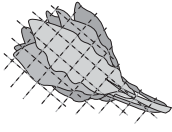
必ずやわらかいものから入れる

(かたいものを先に入れると、かたい材料がカッター刃に引っかかって運転が止まりやすくなります)

①液体



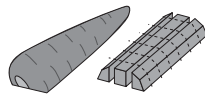
②葉菜類



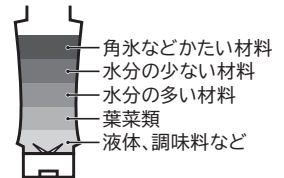
③水分の多い
やわらかい材料



④水分の少ない材料・
かたい材料



⑤角氷



真空にすると、材料から空気が出ることがありますが、故障ではありません。

禁止材料について

弊社ブレンダーには、フードプロセッサー、フードカッター、ドライミルの機能はありません。

下記の禁止材料を使用しないでください。(故障、破損の原因)

カテゴリ	禁止材料	カテゴリ	禁止材料	
かたいもの (故障の原因)	市販の水	粘りけの強いもの、 水分の少ないもの (故障の原因)	ジャム	
	乾燥大豆・生大豆		ドライフルーツ(レーズンなど)	
	穀類		水分を加えない野菜ペースト、 肉のすり身	
	うこん	みじん切りを目的としたもの (均一にできません)	ゆで卵・野菜など	
	乾物類(じゃこ、干しえびなど)		油分が出るもの (うまみ粉砕できません)	ピーナッツ・くるみなど ※液体と一緒に使用できます
	コーヒー豆	脂肪や筋の多いもの (カッターに材料が 引っ掛かって回リません)		肉・魚類
	冷凍した食材(野菜、果物)			たくあんなど
	かたい種(かき、プラムなど)		膨張するもの (吹きこぼれのおそれ)	炭酸水
	氷砂糖	60℃以上の熱い材料など		
	黒砂糖(かたまり)			
粘りけの強いもの、 水分の少ないもの (故障の原因)	魚の骨・皮・頭			
	流動食			
	ゆでたじゃがいも			
	とろろいも			

使いかた(つづき)

真空かくはんの使い方

- ・真空ポンプをつけずにカッターを回転させない。
- ・回転中に真空ポンプをはずして、指・スプーン・はしなど調理材料以外は入れない。
- ・内容物の量で、プッシュできる回数が異なります。

1 かくはんボトルを用意する

2 カッターを取り付ける

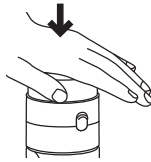
※カッターはしっかりと取り付けてください。
取り付けがゆるいと液体がもれるおそれがあります。

3 食材をボトルに入れる(P.9)

4 真空ポンプを取り付ける

※真空ポンプ、インナーキャップはしっかりと締め付けてください。取り付けがゆるいと真空にできないおそれがあります。

5 真空ポンプを上から
15回ほど押し、
最後に押し込みながら
矢印方向(右方向)にしっかり
ロックする

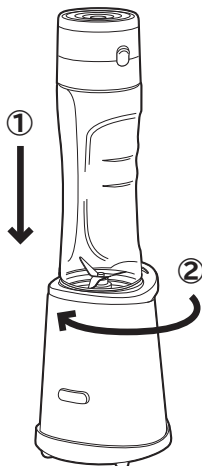


※押すときは、ボトルを立てた状態で
押してください。

※押すときは、手を挟むおそれがあるため、
ボトル部分を持ち、
指を広げて押してください。



6 本体にセットする



① ●マークを合わせて置く



② 止まるところまで回す



7 電源プラグを差し込み
本体をしっかりと
押さえながら
スイッチを押す



回転中は
ぐらつかないように
しっかりと押さえる

※スイッチから手を離すと
運転は止まります。

※1~2秒程度の短い運転を
数回繰り返して粗くかく
はんした後に連続運転に
切り替えると、材料が均一
にかくはんされやすくなり
ます。

8 スイッチから手を離し
回転が止まったことを
確認してから本体から
手を離す

9 真空ポンプの真空解除
スイッチを矢印方向(上)に
押し上げ、真空状態を
解除する



注意 真空解除スイッチを使わ
ずに真空ポンプを取り
外そうとすると、開か
ないおそれがあります。

10 ボトルを本体から外す

ご注意 ボトルとカッターを外すときに、
ボトルを一度右回りに回して、
ボトルとカッターをしっかりと
締めつけ直してから外してください。



11 真空ポンプを かくはんボトルから取り外し、 保存ボトルに調理物に移す

ご注意 かくはんボトルで保存すると、カッター刃に
ついているパッキンから、調理物が漏れる
可能性があるため、保存ボトルに
移してください。



12 用途に合わせてキャップを 取り付ける

すぐに飲む場合

飲み口付きキャップを取り付け
そのまま飲めます。



持ち運ぶ場合

キャップを取り付け持ち運べます。



冷蔵庫などに保存する場合

真空ポンプを取り付けて真空状態で
保存してください。

※真空保存については(P.13)



使いかた(つづき)

13 電源プラグを抜いてすぐにお手入れをする(P.13~15)

ご注意

調理物を取り出しにくいとき

・幅の広いゴムベラ(市販品)をご使用ください。
先端がカーブしているものがおすすめです。

異常音や振動が大きいとき

・スイッチから手を離し、材料を減らしてください。
また、カッターのボトルへの締め付けも
確認してください。

調理物で汚さないために

・ボトルを取り外すときに、調理物が漏れる場合がある
ので注意してください。
・調理物を注ぐときに調理物がこぼれる場合がある
ので注意してください。飲み口付キャップを
取り付ければゆっくり注げます。

モーターの保護装置について

モーターに負担がかかると、保護装置が働き運転が止まりますが、故障ではありません。
次のようにして直してください。

そのまま繰り返し運転しないでください(発煙・異臭や故障の原因)

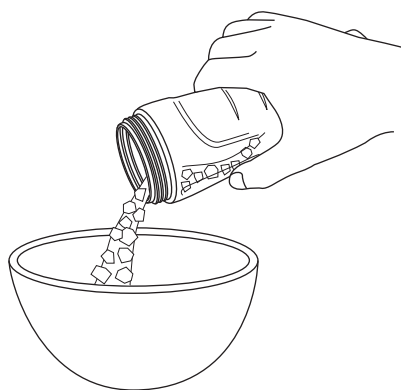
対処方法(禁止材料を使用していない場合)

1 スイッチから 手を離す



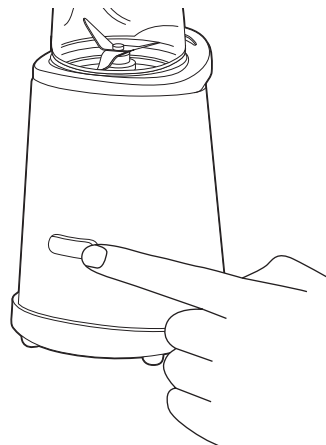
2 材料を半分に 減らす

2分以上運転を中止する。



3 スイッチを押す

回らないときは、
カッターをセットし直し、
再度スイッチを押す。



お願い 上記の処理をしてもたびたび運転が止まるときは、お買い上げの販売店にご相談ください。

真空保存の使い方

保存の注意事項

- ・賞味・消費期限を延ばす効果はありません。
- ・真空保存に減菌作用はないため、できるだけ数時間以内にお飲みください。
- ・真空かくはん後に材料がインナーキャップについてる場合は、インナーキャップ、真空ポンプのお手入れを行い、乾かしてから取り付けてください。
- ・保存ボトルは立てた状態で保存してください。
- ・真空ポンプを付けた状態で振ったり、倒したりしないでください。
- ・直射日光が当たる場所や、高温になる場所での保存は避けてください。

真空保存方法

- ①保存ボトルに真空ポンプを付ける。
- ②真空ポンプを上から15回ほど押し、最後に押し込みながら矢印方向(右方向)にしっかりロックする。

※押すときは、手を挟むおそれがあるため、指を広げて押ししてください。



真空保存解除方法

- ①真空ポンプの真空解除スイッチを矢印方向(上)に押し上げ、真空状態を解除する。



- ②真空ポンプを取り外し、用途に合わせてキャップを付ける。

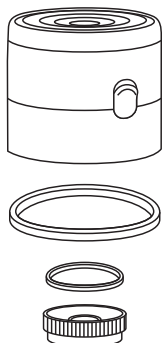
※次に使うときは真空ポンプのロックを外してください。

お手入れと収納

- ・電源プラグをコンセントから抜く
- ・カッター刃の取り扱いには十分注意する
必ず付属の清掃ブラシを使用する。
- ・薄めた台所用洗剤(中性)とやわらかいスポンジを使う
ベンジン・シンナー・漂白剤・スポンジのナイロン面・たわし・磨き粉を使わない。
(表面を傷付けます)
- ・つけおき洗いなどはしないでください
(部品の変形や破損、故障の原因)
- ・60℃以上の湯・食器洗い乾燥機・食器乾燥機は使わない
(部品の変形や破損、故障の原因)
- ・洗浄後は必ず水をきり、よく乾かす(サビの発生するおそれ)

お手入れと収納(つづき)

真空ポンプをお手入れするときは



①真空ポンプはロック状態にする。

※ロックせずに洗うと、真空ポンプ内部に食材などが入り、押せなくなる可能性があります。

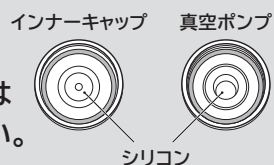


②インナーキャップは外して洗ってください。



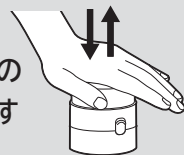
ご注意

中心部のシリコンは外さないでください。



ご注意

使っていくうちに真空ポンプの押す硬さが変わることがありますが、故障ではありません。



取り外しかた

- 付属されている清掃ブラシのへらの部分を使って、図のように、パッキンの先端を少し浮かせて取り出す。



外し方のコツ

へらの部分を寝かせて矢印の方向にまわすと外しやすくなります。※つまようじや針は使用しないでください。

取り付けかた

- 付属されている清掃ブラシのへらの部分を使って、図のように、パッキンを取り付けてください。

①片側を溝の部分にしっかりと入れ込む



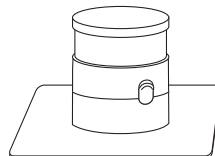
②反対側も同じように入れ込む



③水分をふき取り、真空ポンプのロックを解除、十分に乾燥させる。

※ロックを解除せずに乾燥させると、十分に乾かずに故障の原因になります。

④インナーキャップは乾いてから取り付けてください。



キャップ・飲み口付きキャップをお手入れするときは

①パッキンは外して洗ってください。

取り外しかた

- 付属されている清掃ブラシのへらの部分を使って、図のように、パッキンの先端を少し浮かせて取り出す。



②洗った後は、よくすすいでから水分をきってください。

③パッキンは乾いてから取り付けてください。

取り付けかた

- 付属されている清掃ブラシのへらの部分を使って、図のように、パッキンを取り付けてください。



①片側を溝の部分にしっかりと入れ込む



②反対側も同じように入れ込む



外し方のコツ

へらの部分を寝かせて矢印の方向にまわすと外しやすくなります。

※つまようじや針は使用しないでください。

カッター刃をお手入れするときは

※カッター刃とその周囲は、手を切らないように付属の清掃ブラシで洗う。
※カッター刃でパッキンが傷つかないようにご注意ください。

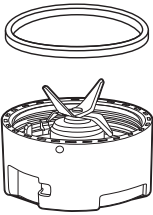
①パッキンは外して洗ってください。

- 付属されている清掃ブラシのへらの部分を使って、図のように、パッキンの先端を少し浮かせて取り出す。

②洗った後は、よくすすいでから水分をきってください。

- 付属されている清掃ブラシのへらの部分を使って、図のように、パッキンを取り付けてください。

取り外しかた



- ①片側を溝の部分にしっかり入れ込む



- ②反対側も同じように入れ込む



外し方のコツ

へらの部分を寝かせて矢印の方向にまわすと外しやすくなります。
※つまようじや針は使用しないでください。

③パッキンは乾いてから取り付けてください。

取り付けかた

- 付属されている清掃ブラシのへらの部分を使って、図のように、パッキンを取り付けてください。

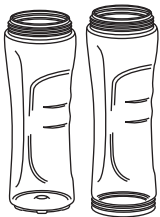
- ①片側を溝の部分にしっかり入れ込む



- ②反対側も同じように入れ込む

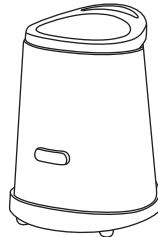


トライタンボトルをお手入れするときは



- ①ボトルは細長いため、柄のついたスポンジなどで洗ってください。
- ②洗った後は、よくすすいでから水分を切ってください。
- ③乾いてから取りつけてください。

本体をお手入れするときは



- ①よく絞ったふきんなどでふいてください。
- ②十分に本体を乾燥させてください。

樹脂部品の変色について

樹脂部品※は、にんじん・葉菜類の色素が付着して変色します。スポンジで洗っても完全には取れませんが、使用上問題ありません。使用後は早めにお手入れすると、比較的よく取れます。

※ボトル、キャップ、カッター、真空ポンプ、インナーキャップなど

収納するときは

- ・十分に乾燥させ、収納する(パッキンのおい移りが軽減されます)
- ・ボトルはキャップ・飲み口付キャップを取り付けて収納する(キャップの紛失を防ぐため)
- ・カッターに保護キャップを被せる
- ・ボトル内部を真空状態で収納しない(真空での破損を防ぐため)





故障かな?と思ったら

下記の事をお確かめになり、それでも調子が悪いときはただちにご使用を中止し、お買い上げの販売店またはご相談窓口(☎P.19)にお問い合わせください。

症状	調べるところ・対処方法	参照ページ
空回りする	<ul style="list-style-type: none"> ●氷が多すぎる場合は、いったんスイッチを「切」にし、完全に回転が止まってからボトルを本体から外し、軽く振ってください。 ●液体の量が少なすぎる場合は、液体の量を追加してください。 ●ボトル内で材料が分離した場合に空回りしやすくなります。分離してしまった場合は、1~2秒程度の短い運転を数回繰り返して粗かくはんした後、連続運転に切り替えると、材料が均一にかくはんされやすくなります。 	9
スイッチを入れても運転しない	<ul style="list-style-type: none"> ●ボトルが正しくセットされていない場合は、ボトルの●マークが本体の▲マークに合わさるように置き、■マークまでしっかりと回してください。 ●電源プラグが抜けていないか確認してください。 ●材料が引っかかっているか確認してください。 ●ご家庭のヒューズ、ブレーカーが切れていないかを確認してください。 	10
使用中に運転が止まる	<ul style="list-style-type: none"> ●禁止材料を入れている、材料が多すぎる、材料がかたい、異常音や振動が大きいときなどは、モーター保護装置が働いた可能性があるため、「モーター保護装置について」に従って直してください。禁止材料を入れている場合は禁止材料を取り除いてください。 	9、12
調理物が漏れる	<ul style="list-style-type: none"> ●ボトルにカッター、キャップ、飲み口付キャップをしっかりと締め付けてください。 ●カッター、キャップ、飲み口付キャップ、真空ポンプ、インナーキャップにパッキンが正しく付いているか確認してください。 	10、14、15
異常音や振動が大きい	<ul style="list-style-type: none"> ●材料が多すぎる場合は、スイッチを「切」にし材料を減らしてください。 ●カッターをボトルにしっかりと締め付けてください。 	10、11、14、15
真空にならない	<ul style="list-style-type: none"> ●真空ポンプにインナーキャップがついているか確認してください。 ●真空ポンプ・インナーキャップ・カッターが正しく付いているか確認してください。 ●カッター・真空ポンプ、インナーキャップにパッキンが正しく付いているか確認してください。 	10、14、15

消耗部品について

販売店でお買い求めください。

消耗部品			
<p>パッキン (キャップ用:グレー) 部品番号 HX-C1000 001</p>  <p>希望小売価格 385円(税込)</p>	<p>パッキン (カッター用:黒) 部品番号 HX-C2000 004</p>  <p>希望小売価格 385円(税込)</p>	<p>パッキン (真空ポンプ用:白) 部品番号 HX-C2000 003</p>  <p>希望小売価格 385円(税込)</p>	<p>インナーキャップ 部品番号 HX-C2000 002</p>  <p>希望小売価格 638円(税込)</p>

※パッキン(真空ポンプ用、カッター用、キャップ用)、インナーキャップは消耗品です。1年を目安にご確認ください。
各パッキン・インナーキャップは変色および汚れや傷みがあるとき、調理物が漏れるときは、お買い上げの販売店でお買い求めになり、取り替えてください。

※上記の希望小売価格は、価格改正に伴い変更する場合があります。

※2020年12月現在

仕様

電源	交流100V 50-60Hz共用	
消費電力	180W	
定格時間	4分間動作、2分休止の繰り返し 動作合計20分まで、20分使用后、30分の休止が必要	
容量	600mL	
コード長さ	約1.3m	
大きさ	幅	12.6cm
	奥行	13.3cm
	高さ	41.6cm(かくはんボトル、真空ポンプ装着時)
質量	1.4kg(かくはんボトル、真空ポンプ装着時)	
カッター刃	非対称チタンコーティング	

保証とアフターサービス(必ずお読みください)

アフターサービス等について、おわかりにならないときは、お買い上げの販売店またはご相談窓口(☎ P.19)にお問い合わせください。

<p>① 保証書 (裏表紙についています。)</p>	<p>保証書は、必ず「お買い上げ日・販売店名」などの記入をお確かめのうえ、販売店から受け取っていただき、内容をよくお読みのと、大切に保管してください。</p> <p style="text-align: center;">保証期間はお買い上げの日から1年です。</p>					
<p>② 修理を依頼される ときは 持込修理</p>	<p>保証期間中は</p>	<p>修理に際しましては保証書をご提示ください。保証書の規定に従って修理させていただきます。なお、修理内容によっては商品交換にて対応させていただきます。消耗品の交換(パッキンなど)は、保証期間内でも、「有料」とさせていただきます。</p>				
	<p>保証期間が 過ぎているときは</p>	<p>修理して使用できる場合には、ご希望により有料で修理させていただきます。なお、修理内容によっては、有料にて商品交換で対応させていただきます。</p>				
<p>③ 補修用性能部品の 保有期間</p>	<p>パーソナルブレンダーの補修用性能部品を製造打ち切り後6年間保有しています。 ●補修用性能部品とは、その商品の機能を維持するために必要な部品です。</p>					
<p>④ ご転居される ときは</p>	<p>ご転居によりお買い上げの販売店のアフターサービスを受けられなくなる場合は、前もって販売店にご相談ください。ご転居先での日立の家電品取扱店を紹介させていただきます。</p>					
<p>⑤ 修理料金のしくみ</p>	<p>修理料金=技術料+部品代などで構成されています。</p> <table border="1" data-bbox="415 1450 1251 1541"> <tr> <td>技術料</td> <td>診断、部品交換、調整、修理完了時の点検などの作業にかかる費用です。技術者の人件費、技術教育費、測定機器などの設備費、一般管理費などが含まれます。</td> </tr> <tr> <td>部品代</td> <td>修理に使用した部品代金です。その他修理に付帯する部材などを含む場合もあります。</td> </tr> </table>		技術料	診断、部品交換、調整、修理完了時の点検などの作業にかかる費用です。技術者の人件費、技術教育費、測定機器などの設備費、一般管理費などが含まれます。	部品代	修理に使用した部品代金です。その他修理に付帯する部材などを含む場合もあります。
技術料	診断、部品交換、調整、修理完了時の点検などの作業にかかる費用です。技術者の人件費、技術教育費、測定機器などの設備費、一般管理費などが含まれます。					
部品代	修理に使用した部品代金です。その他修理に付帯する部材などを含む場合もあります。					

ご相談窓口 (家庭電気製品の表示に関する公正競争規約による表示)

日立家電品についてのご相談や修理はお買上げの販売店へ

なお、転居されたり、贈物でいただいたものの修理などで、ご不明な点は下記窓口にご相談ください。
※下記窓口の内容は、予告なく変更させていただく場合がございます。

修理に関するご相談窓口

TEL 0120-3121-68
携帯電話 0570-0031-68 (有料)
FAX 0120-3121-87
(受付時間)9:00~18:00(月~土)、9:00~17:00(日・祝日)

商品情報やお取り扱いについてのご相談窓口

TEL 0120-8802-28
携帯電話 050-3152-2828 (有料)
FAX 0120-3121-34
(受付時間)9:00~17:30(月~土)、9:00~17:00(日・祝日)
年末年始は、休ませていただきます。

- 「持込修理」および「部品購入」については、上記窓口にて各地区のサービスセンターをご紹介させていただきます。
- ご相談、ご依頼いただいた内容によっては弊社のグループ会社や協力会社に個人情報を提供し対応させていただくことがあります。
- 修理をご依頼いただいたお客様へ、アフターサービスに関するアンケートハガキを送付させていただくことがあります。
- 保証期間中の修理依頼時は、保証書をご提示ください。
- 上記窓口の内容は、予告なく変更させていただく場合がございます。

愛情点検



長年ご使用のパーソナルブレンダーの点検を!

- パーソナルブレンダーの補修用性能部品の保有期間は、製造打ち切り後6年間です。

ご使用の際、
このような
症状はあり
ませんか?

- 電源プラグや電源コードが異常に熱くなる。
- 電源コードに傷がついていたり、ふれると通電したりしなかったりする。
- その他の異常、故障がある。



ご使用
中 止

このような症状のときは、
故障や事故防止のため、
スイッチを切り、コンセント
から電源プラグを抜いて、
必ず販売店に点検・修理を
ご相談ください。

本書および本機の使用により生じた損失、逸失利益または第三者からのいかなる請求についても当社では一切その責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。改良のため、仕様の一部を予告なく変更することがあります。また商品の色調は、印刷のため異なる場合もあります。あらかじめご了承ください。

◎日立グローバルライフソリューションズ株式会社

〒105-8410 東京都港区西新橋二丁目15番12号(日立愛宕別館)

日立パーソナルブレンダー保証書 持込修理

保証期間内に取扱説明書、本体ラベル等の注意書きにしたがって正常な使用状態で使用していて故障した場合には、本書記載内容にもとづきお買い上げの販売店が無料修理いたします。

お買い上げの日から下記の期間内に故障した場合は、商品と本書をお持ちいただき、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。

なお、商品をお買い上げの販売店(修理申出先)やメーカーへ送付した場合の送料等はお客様の負担となります。お客様にご記入いただいた保証書の写しは、保証期間内のサービス活動及びその後の安全点検活動のために記載内容を利用して頂く場合がございますので、ご了承ください。

型式	HX-C2000	※お買い上げ日		保証期間
		年	月	日
※お客様	ご住所 〒 -	様		
ご芳名				
※販売店	住所 〒 -	TEL		
店名				

※印欄に記入のない場合は無効となりますので必ずご確認ください。

- 保証期間内でも次のような場合には有料修理となります。
 - (イ) 使用上の誤り、または改造や不当な修理による故障または損傷。
 - (ロ) お買い上げ後の落下、引越越し、輸送等による故障または損傷。
 - (ハ) 火災、地震、風水害、落雷、その他天災地変、塩害、公害、ガス害(硫化ガスなど)や異常電圧、指定外の使用電源(電圧、周波数)による故障及び損傷。
 - (ニ) 一般家庭用以外《例えば業務用等への長時間使用及び車両(車載用を除く)、船舶への搭載》に使用された場合の故障及び損傷。
 - (ホ) 業務用に使用されて生じた故障または損傷。
 - (ヘ) 本書のご提示がない場合。
 - (ト) 本書に型式、お買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは字句を書き換えられた場合。
 - (チ) 消耗品の交換(パッキンなど)。
- この商品について出張修理をご希望の場合には、出張に要する実費を申し受けます。
 - ご転居の場合は事前にお買い上げの販売店にご相談ください。
 - 贈答品等で本書に記入してあるお買い上げの販売店に修理をご依頼になれない場合には、ご相談窓口(☎P.19)にご相談ください。
 - 本書は再発行いたしませんので紛失しないよう大切に保存してください。
 - 本書は日本国内においてのみ有効です。
Effective only in Japan.

- この保証書は本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。この保証書によって保証書を発行している者(保証責任者)、及びそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。保証期間経過後の修理についてご不明の場合は、お買い上げの販売店またはご相談窓口(☎P.19)にお問合わせください。
- 保証期間経過後の修理や補修用性能部品の保有期間については取扱説明書の「保証とアフターサービス」(☎P.18)をご覧ください。

修理メモ

 日立グローバルライフソリューションズ株式会社

〒105-8410 東京都港区西新橋二丁目15番12号(日立愛宕別館)

電話 03-3502-2111